

新型「CIVIC」を発売

Honda は、新型「CIVIC (シビック)」シリーズの3タイプ、「シビック ハッチバック」、「シビック セダン」、「シビック TYPE R (タイプアール)」を9月29日(金)に発売します。

新型シビックシリーズは、世界のCセグメントでトップクラスの「操る喜び」の提供を目指して開発されました。新開発のプラットフォームを核に、機能美を追求したロー&ワイドな先進フォルムや、力強くスムーズな加速と高い環境性能を両立した直噴 VTEC TURBO エンジンを採用しています。タイプは、洗練された上質な走りのセダン、よりスポーティーさを際立たせたハッチバック、究極のFFスポーツであるTYPE Rの3つを展開します。

また7月30日(日)より、新型シビックをモチーフにした企業広告「Go, Vantage Point.」も展開していきます。

【新型シビックシリーズ】

Cセグメントでトップクラスの「操る喜び」の提供を目指し、サーキットを含むさまざまな走行シーンでの運動性能を高次元で達成するプラットフォームを新開発しました。TYPE Rの目指す究極の運動性能を実現するこのプラットフォームを核として3タイプを同時に開発し、各タイプの個性を活かしながら、シリーズ全体としてのポテンシャルを飛躍的に向上させました。

TYPE Rは、ベース車からのチューンアップではなく、開発当初よりTYPE Rとして目指す理想の姿をゼロから思い描き追求したことで、大幅なスポーツ性能の向上を実現。さらに街中での乗りやすさや居住性、快適性なども一層向上しました。ハッチバックとセダンは、広さや使い勝手の良さはもちろんのこと、TYPE Rの走りの資質を享受することで、よりスポーティーな運動性能を実現しています。



●販売計画台数 (国内・月間・シリーズ合計)

2,000 台

-1-

スピードはひかえめに、シートベルトをしめて安全運転。お子様にはチャイルドシートを。

本田技研工業株式会社

ブランド・コミュニケーション本部 広報部

〒107-8556 東京都港区南青山 2-1-1

企業広報 TEL (03)5412-1512 商品・技術広報 TEL (03)5412-1514

二輪広報 TEL (048)462-2962 URL <http://www.honda.co.jp/>

Honda Motor Co., Ltd.

Brand and Communication Operations, Corporate Communications Division

2-1-1 Minami-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107-8556, Japan

Corporate PR +81 3 5412-1512 Product & Technology PR +81 3 5412-1514

Motorcycle PR +81 48 462-2962 URL <http://world.honda.com/>

●全国メーカー希望小売価格

タイプ	駆動方式	変速機	消費税 8%込み	消費税抜き
シビック ハッチバック	FF	CVT	2,800,440 円	2,593,000 円
		6MT	2,800,440 円	2,593,000 円
シビック セダン	FF	CVT	2,650,320 円	2,454,000 円
シビック タイプ R	FF	6MT	4,500,360 円	4,167,000 円

※ 価格には、保険料、税金（消費税を除く）、登録などに伴う費用は含まれません

※ 自動車リサイクル法の施行によりリサイクル料金が別途必要。リサイクル料金は、リサイクル預託金（シュレッダーダスト、エアバッグ類、フロン類のリサイクル等に必要な費用、情報管理料金）および資金管理料金の合計金額

○ボディーカラー

<シビック ハッチバック> (全 5 色)

ホワイトオーキッド・パール^{※1}
 ルナシルバー・メタリック
 クリスタルブラック・パール
 フレームレッド
 ブリリアントスポーティブルー・メタリック

<シビック セダン> (全 5 色)

ホワイトオーキッド・パール^{※1}
 ルナシルバー・メタリック
 クリスタルブラック・パール
 プレミアムクリスタルレッド・メタリック^{※2}
 コスミックブルー・メタリック

<シビック TYPE R> (全 4 色)

チャンピオンシップホワイト
 クリスタルブラック・パール
 フレームレッド
 ブリリアントスポーティブルー・メタリック

○インテリアカラー

<シビック ハッチバック/シビック セダン> (全 1 色)

ブラック^{※3}

<シビック TYPE R> (全 1 色)

レッド/ブラック (TYPE R 専用色)

※1 ホワイトオーキッド・パールは 37,800 円（消費税 8%抜き 35,000 円）高

※2 プレミアムクリスタルレッド・メタリックは 59,400 円（消費税 8%抜き 55,000 円）高

※3 CVT 車は、メーカーオプションでレザーインテリアを選択可

【新型シビック ハッチバック/シビック セダンの特長】

●デザイン：機能美を追求し、ダイナミックな走りを高めるロー&ワイドなデザイン

- ・ロー&ワイドを基本に機能美を追求した造形で、ダイナミック性能を高めながら、動体としての姿をより美しく魅せるスタイリングを実現しました。セダンは、クーペのような流麗なルーフラインに、硬質で彫刻的なサイドパネルを持つ、先進的で上質なフォルムが特長です。ハッチバックは、セダンと基本骨格を共有しながらも、ダイナミックで軽快なリアビューとすることで、スポーティーさをより演出しています。

●走り：「操る喜び」を目指し、機敏な走りと高速走行時の安定性を高次元で両立

- ・新開発プラットフォームをベースとした、高剛性、軽量かつ低重心・低慣性なボディーにより、優れた空力特性を実現。高速域での安定性に寄与し、静粛性を高めています。
- ・新型シビック専用にチューニングを施した、低回転から高回転まで伸びのある 1.5L VTEC TURBO エンジンと、加速性能を向上させる CVT との組み合わせにより、ターボラグを感じさせない、リニアでパワフルな加速フィールを実現しています。
- ・シャシーは、マクファーソン・ストラット式フロントサスペンション、マルチリンク式リアサスペンション、デュアルピニオン可変ギアレシオ EPS などの採用により、俊敏なハンドリングと高速走行時の安定性を高次元で両立しました。
- ・ハッチバックは、排気流量を増加させるセンターエキゾーストシステムを採用するとともにプレミアムガソリン仕様とすることで、セダンよりもさらに高出力・高トルクな設定としています。CVTに加えて6速マニュアルトランスミッションも選択可能で、よりスポーティーな走りをお楽しみいただけます。

●快適性：ゆとりの室内空間とクラストップレベルの広い荷室、世界初の横開きカーゴエアーカー

- ・C セグメントでトップクラスとなる、ゆとりある室内空間を確保するとともに、大開口かつ大容量な荷室とし、使いやすさも追求しました。さらにハッチバックでは、左右どちらにも引き出しや巻き取りが可能な、世界初^{※4}となる横開きのカーゴエアーカーを採用しています。

●Honda SENSING を標準装備

- ・先進の安全運転支援システム「Honda SENSING (ホンダ センシング)」を標準装備^{※5}。ミリ波レーダーと単眼カメラによる車両前方の状況認識と、ブレーキ、ステアリングの制御技術が協調し、安心・快適な運転や事故回避を支援します。

【新型シビック TYPE R の特長】

●目指したのは究極の FF スポーツ

- ・開発当初より TYPE R を見据えてプラットフォームを新開発。先代モデルに対し、ねじり剛性の向上（プラス約 38%^{※6}）やボディーの軽量化（マイナス約 16kg^{※6}）、低重心化、ホイールベースとトレッドの拡大などにより、さらに優れた走行安定性を追求しています。
- ・シャシーは、圧倒的なスタビリティを実現するマルチリンク式リアサスペンションを新たに採用したほか、先代モデルからさらに進化したデュアルアクシス・ストラット式フロントサスペンションや、アダプティブ・ダンパー・システムなど制御技術の進化により、運動性能を大幅に向上させています。
- ・2017 年 4 月に行われたドイツ・ニュルブルクリンク 北コースでの走行テストでは、FF モデルとして最速^{※7}となる、7 分 43 秒 80^{※8}のラップタイムを記録し、先代モデルのタイムを 7 秒近く^{※9}更新するなど、運動性能の高さを証明しています。

●さらに進化したパワートレイン

- ・先代モデルからさらに進化した、新型シビック TYPE R 専用の 2.0L VTEC TURBO エンジン（最高出力 235kW[320PS]、最大トルク 400N・m[40.8kgf・m]）を搭載。エンジン制御技術の進化により、低回転域での高トルクかつハイレスポンスな立ち上がりと、全開領域での高出力化を実現しています。
- ・6 速マニュアルトランスミッションのローレシオ化や軽量シングルマス・フライホイールの採用により、加速性能をさらに向上しました。

●レブマッチシステムを採用

- ・減速操作に合わせてエンジンの回転数が自動で調整されるレブマッチシステムを Honda 車として初めて採用。これにより減速時のアクセル操作が不要となり、よりステアリングやブレーキに集中した運転が可能になりました。またドライバーの好みに、システム自体をオフにすることも可能です。

●走行シーンに応じて選べる 3 つのドライブモード

- ・サーキットでの走行性能だけでなく、一般公道でのグランドツアラー性能も大幅に進化しています。ドライビングモードには、ベストバランスの「SPORT」、ダイナミック性能を追求した「+R」、さらに、日常の快適性にも配慮した「COMFORT」を追加し、TYPE R の新たな世界観を表現しました。モードスイッチを操作することでダンパー・ステアリング・スロットルなど制御デバイスのセッティングを瞬時に変更し、サーキットから市街地まで、さまざまなシーンに応じた高いパフォーマンスを発揮します。

※4 Honda 調べ（2017 年 7 月時点）

※5 CVT 車では Honda SENSING を装備しない仕様も選択可

※6 Honda 測定値

※7 Honda 調べ（2017 年 4 月現在）

※8 欧州仕様車で実施。Honda 測定値

※9 先代シビック TYPE R のラップタイム 7 分 50 秒 63（Honda 測定値）を、6 秒 83 更新

いいふれあいを
お客様からのお問い合わせは、「お客様相談センター-0120-112010」へお願い致します。